



NEWS RELEASE

国土交通省 近畿運輸局

問い合わせ先

(所属) 海事振興部貨物・港運課

(担当) 永田 06-6949-6417

令和7年1月27日

内航海運活性化セミナーを開催します！

～内航船員教育・育成の現状について～

内航海運の担い手である船員は、教育機関卒業者をはじめとした新規就業者数や30歳未満の船員の割合こそ増加傾向にあるものの、有効求人倍率が4倍以上を記録するなど、船員不足はいまだ解消されていません。

このような船員の確保・育成対策については、利用者にあたる荷主側から海運業界の現状についての理解・協力を得ることや、船員を育成している教育機関の現状等を正しく認識することも重要であり、海運事業者による対応のみにとどまらず海運業界全体で取り組む必要がある問題です。

そこで今年度は、教育機関で船員教育に携わる方や、若年船員の育成に船員育成船舶を活用されている方といった船員の教育・育成の現場を知る方々にご講演をいただくセミナーを開催いたします。

記

1. 日時 令和7年2月27日(木)14:00～17:00
2. 場所 ホテルプリムローズ大阪2F「鳳凰東」
大阪メトロ谷町線・中央線「谷町四丁目」駅下車 1B 出口より徒歩約1分
3. 内容 別紙次第のとおり
4. 主催 近畿運輸局、神戸運輸監理部
5. 申込方法 別紙申込書に記入のうえ、メール又はFAXにて申してください
(定員100名 先着順)

* 当日取材を希望される方は、別添取材申込書を事前にご提出いただきますようお願いいたします。

* 神戸運輸監理部同時発表



<https://c2sea.jp>



配布先

青灯クラブ・近畿電鉄記者クラブ・海事関係業界紙

内航海運活性化セミナー次第

開会挨拶

近畿運輸局次長 池田 哲郎

○講演1 14:10~14:55

「内航海運による安定・効率輸送の確保に向けた政府の取組等について」

講師：国土交通省海事局内航課 企画調整官 角野 貴優 氏

内航海運は、国内貨物輸送全体の約4割を担う、我が国の国民生活と経済活動を支える必要不可欠なライフラインです。また、物流2024年問題を受けたトラックから船舶へのモーダルシフト等の観点からも、内航海運に求められる役割はますます大きくなっておりま

す。本講演では、内航海運による安定・効率輸送を確保するために政府が推進している各種施策等について講演を行います。

○講演2 15:10~15:40

「海上技術学校・海上技術短期大学校における生徒・学生募集」

講師：独立行政法人海技教育機構 学校教育部 募集就職課長 毛利 文彦 氏

独立行政法人海技教育機構は、海上技術学校・海上技術短期大学校の卒業生の海上就職率が98%となるなど、内航船員の確保・育成の核たる存在となっています。

近年、少子化などの影響により応募者が減少している中で、海技教育機構が行っている生徒・学生募集の取組みについてご講演をいただきます。

○講演3 15:55~16:40

「実務型練習船「れいめい」による船員育成について」

講師：日鉄物流株式会社 内航海運本部 部長代理 福井 孝之 氏

少人数の配乗で、1人当直の小型内航船においては、実務経験が不足している若手船員や陸上からの転職船員に対して、現場で教育を施すことが難しいことが課題となっています。

日鉄物流(株)では、そうした船員に対して、実際の貨物輸送に従事しながら船の運航実務を教える場として実務型練習船を建造し活用しており、日鉄グループ船団の船員を対象に、現場実務の入口にあたる教育を行っています。

この取組みがどのような効果を生んでいるか、ご講演をいただきます。

閉会挨拶

神戸運輸監理部長 臼井 謙彰

「内航海運活性化セミナー」参加申込書

メール:kkt-naikoukaiun@gxb.mlit.go.jp 近畿運輸局 海事振興部 セミナー担当宛
FAX番号:06-6949-6457

(貨物・港運課 電話番号:06-6949-6417 担当:永田)

令和 年 月 日

関係業界(○をつけてください)	内航海運業	旅客船事業	その他
会社名			
住所			
電話			
参加者ご氏名			

※ 上記内容は、参加者名簿作成のみに使用いたします。

申し込み締切:2月20日(木)

なお、定員(100名)になり次第締め切らせていただきます。

日時 令和7年2月27日(木) 14:00~17:00

場所 ホテルプリムローズ大阪2F「鳳凰東」 TEL(06)6941-1231
地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅下車1B出口より徒歩約1分(パスポートセンター2F)

アクセス



近畿運輸局海事振興部 セミナー担当（永田）あて

MAIL : kkt-naikoukaiun@gxb.mlit.go.jp

FAX : 06-6949-6457

取材申込書

社名	
所属記者クラブ	
お名前	
ご連絡先（携帯）	

*ご登録頂きました連絡先等の個人情報については、取材登録以外の目的には使用いたしません。